

【学力向上フロンティア事業中間報告書】

都道府県名	秋田県
-------	-----

学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	湯沢市立三関小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	1	1	1	1	1	1	2	8	15
児童数	21	28	24	31	29	35	2	170	

研究の概要

1 研究主題

確かな学力を身に付け、生き生きと学ぶ子どもの育成
--------------------------

2 研究内容与方法

(1) 実施学年・教科

<p>本校の児童の実態をふまえ、</p> <p>1～6年生 ・算数（自ら課題を見付け、既習の知識を用いて解決しようとする力を育てるため）</p> <p>1～6年生 ・国語（自分の考えをまとめて話したり、自分の思いを表現する力を育てるため）</p>
---

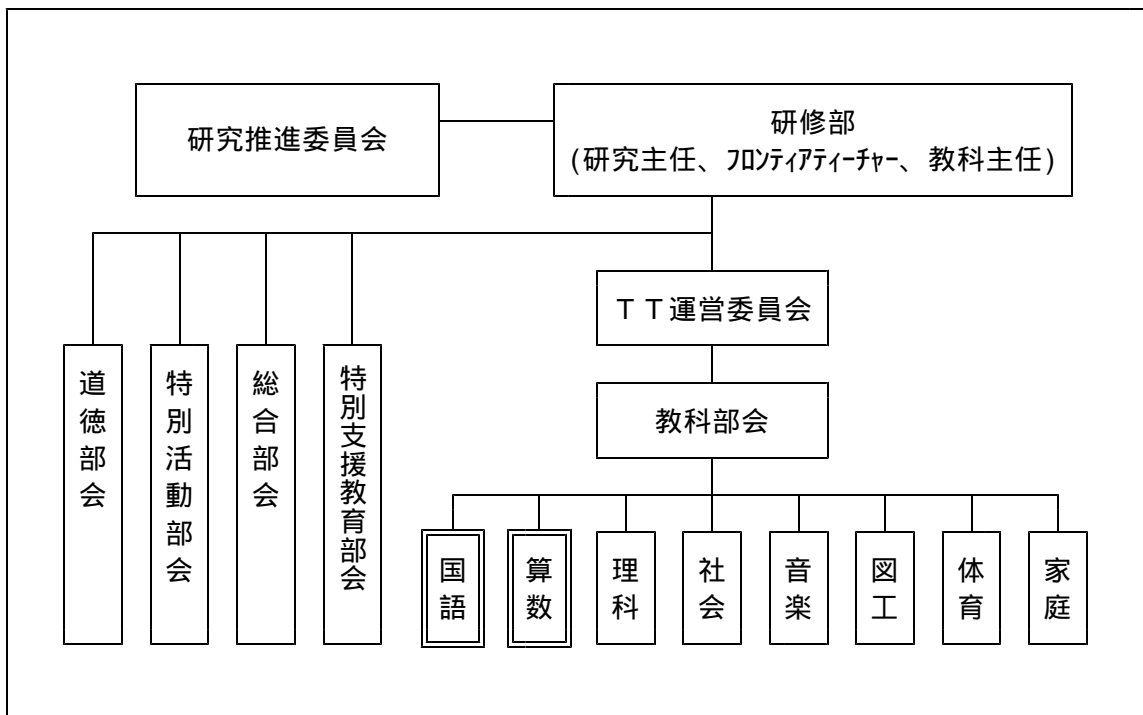
(2) 年次ごとの計画

平成15年度	<p>テーマ 確かな学力を身に付け、生き生きと学ぶ子どもの育成 ～少人数・TTなどの指導の工夫改善を通して～</p> <p>研究の見通し（仮説） 子どもの実態や学習内容に応じて、指導方法・指導形態の工夫改善を図ることにより、学習意欲を高めることができ、主体的に学ぶ力が育つであろう。</p> <p>研究内容・方法</p> <p><b>基礎・基本の定着を図るための取り組み</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日課における工夫・・・ チャレンジタイム(朝)、個別指導タイム(放課後)</li> <li>・全校読書の取り組み</li> <li>・体力づくり</li> </ul> <p><b>楽しく分かる授業・個に応じた指導の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個に応じた指導のための教材開発</li> <li>・個に応じた指導のための指導方法・指導形態の工夫改善</li> <li>・指導に生かす評価の工夫改善</li> </ul>
--------	--

	<p><b>自ら課題をもち、取り組む学習場面の設定</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活の中から課題を取り上げた学習</li> <li>・教科の学習を発展させた学習</li> <li>・個々の課題解決学習の推進</li> <li>・地域人材や自然を生かした体験学習</li> </ul> <p>【1年次】 ・実態調査、参考資料調査 ・研究主題設定 ・研究組織設立          ・研究実践（主に、 ） ・先進校視察          ・研究のまとめと次年度への課題</p>
--	--

平成 16 年度	<p>テーマ 確かな学力を身に付け、生き生きと学ぶ子どもの育成          ~ 少人数・TTなどの指導の工夫改善を通して ~</p> <p>研究の見通し（仮説）          子どもの実態や学習内容に応じて、指導方法・指導形態の工夫改善を図ることにより、学習意欲を高めることができ、主体的に学ぶ力が育つであろう。</p> <p>研究内容・方法  <b>基礎・基本の定着を図るための取り組み</b>  <b>楽しく分かる授業・個に応じた指導の推進</b>  <b>自ら課題をもち、取り組む学習場面の設定</b></p> <p>【2年次】 ・実態調査 ・研究実践（ 、 を中心に） ・公開研究会          ・研究のまとめ</p>
----------------	---

(3) 研究推進体制



1 研究成果

基礎・基本の定着を図るための取り組み

朝読書から一日が静かにスタートすることが子どもたちにも定着してきている。本に親しむとともに、集中力も養われてきたことが感じられる。漢字・計算力の向上が見られ、意欲的に取り組むようになっている。

楽しく分かる授業，個に応じた指導の推進

**少人数学習による指導**

一人一人に目が届きやすく、ノート指導や活動に対して個に応じたきめ細かな支援ができた。

一つの教室で学習する子どもの数が半分となったことで、個々の活動の支援や機会が確保され、発言の機会も増えた。

**TTによる指導**

教師同士が互いに協力、刺激し合うことで教材研究が深まり、指導過程の充実を図ることができた。

算数科・国語科においては、教科の専門性を生かしたTTが可能となったことで、教科のよさや楽しさに触れる授業が見られるようになってきた。

スキルを獲得させたり、習熟させたりするねらいのもとでは、指導を分担することができ、有効な支援が可能となった。

書く・話す・発表する・調べる・まとめる等の過程において、個に応じたきめ細かな支援ができ、それぞれを伸ばすことができた。

個々のつまずき・到達度・よさなどを複数の目で見ることができ、子ども一人一人の評価をしやすくし、評価をよりの確に行うことにつながった。

## 2 今後の課題

基礎・基本の定着を図るための取り組み

さらに効果をあげるために、授業と家庭学習との連動を図り、家庭での学習習慣の定着を図っていききたい。

楽しく分かる授業，個に応じた指導の推進

### 少人数学習による指導

進度や評価等の認識に、教師相互のずれが生じないように、打ち合わせを密にしていきたい。

場合によっては、練り合いが深まらないこともあり、どの学習場面で少人数学習が効果的かを吟味しながら精選して、指導していきたい。

### TTによる指導

もう少しで「おおむね満足」に到達する子どもと、「十分満足」と判断される子どもへの、さらに伸ばす支援の手だてについて、計画的に準備して実施できるようにしていきたい。

自ら課題をもち、取り組む学習場面の設定

各教科の単元との関連を図りながら、年間計画を作成していきたい。

意欲的に取り組ませることができ、日常的な活用場面を考慮した学習活動を工夫していきたい。

算数科で、以下の観点から問題づくりの学習も実施していきたい。

- ・問題解決のさらなる定着を図るための学習として
- ・教科の学習を発展させ、生活の中から課題を取り上げる学習として
- ・個々の課題解決学習として
- ・単元の学習計画を立てるための手だてとして

## 学力把握のための学校としての取り組み

定期的な学力テストの実施（年1回）

秋田県学習状況調査

学校教育に関するアンケート

・保護者      ・子ども      ・職員

## フロンティアスクールとしての研究の成果の普及

校内授業研究会の際、中学校の職員が授業参観し協議会に参加するなど、中学校との連携を図った。

湯沢市「南ブロック研修会」の際、授業を提示しながら本校の取り組みについて発表した。

県南地区「確かな学力」向上推進協議会において、本校の取り組みについてワークショップ形式で発表した。

平成16年10月1日、本校で公開研究会を開催する予定

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】      ✓ 15年度からの新規校      14年度からの継続校
- 【学校規模】              6学級以下              ✓ 7～12学級  
                                 13～18学級              19～24学級  
                                 25学級以上
- 【指導体制】              ✓ 少人数指導              ✓ T.Tによる指導  
                                 一部教科担任制              その他
- 【研究教科】              ✓ 国語              社会              ✓ 算数              理科  
                                 生活              音楽              図画工作              家庭  
                                 体育              ✓ その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】      ✓ 有              無